

昨年、サラブレ誌上でオックス的中

見解・2着馬もズバリ!

久光 匡治記者

(競馬専門紙『優馬』)



万馬券連発で収支プラスを実現

鎚木 正三氏

(『美浦ドリーム』主宰)



スゴ腕の馬券師が斬る

「単勝期待値理論」とは!?

鎚木氏は62年生まれ。JRAが主催した「ドラマチック09」オッズ・マスターズ・グラウンドで総合3位に入り、自身のブログでの反響が大きかったこともあって、10年に予想会社「美浦ドリーム」を設立。血統やなど一般的に重視される予想ファクターをスポイルし、独自の「単勝期待値理論」をもとに穴狙いに徹し数々の万馬券的中と高回収率を実現。今年も192万馬券をはたきだした。

はじめ、60万円台2本、56万馬券、38万馬券等、多数の超高配当を的中させている。「単勝期待値理論」とは、単勝の期待値がより高い馬、もしくはそれらの馬同士の組み合わせを買い続けることで、理論上の収支をプラスにする考え方のこと。氏は独自のスピード指数とタイム理論、VTRを繰り返し見ることで、高い精度でそれを実現している。さらに詳しく知りたいひとはホームページをご覧ください。

<http://www.miho-d.jp/>
(毎日2鞍無料提供)



第3の馬ならエリンコート

花賞後にオックスの本命はトレンドハンターと決めていたが、無念にも競走離脱……。両トライアルもやや低調だっただけに、中心は既存勢力。桜花賞馬セリナと2着ホールキャブチャでいいだろう。共に折り合いに不安がなく、血統的にも距離延長はOK。決め手も甲乙付け難い2頭だけに、あえて差をつけるなら東京で重賞勝ちのあるホールキャブチャに賭ける。桜花賞は距離の差を吸収する十分な力がある。第3の馬なら、忘れな草賞勝ちのエリンコート。2着前の勝ち時計はその前日のフローラSで0秒3差の好記録。フローラSの勝ち馬が桜花賞3着トレンドハンターなのだから、イメージも満ちた。素晴らしいラップを好位から抜け出す持久力が最大の強みで、切れ者の先述2頭とは趣の違うタイプ。酒桶なら一貫の台頭もあつた。以下、ジリ細だがペースアップするメタランと、距離延長で良さが出そう。デビューリーゼが連下候補。

サラブレ11年6月号より

昨年の本誌6月号でオックスの予想を披露し、1着エリンコート(7番人気)、2着ピュアブリーゼ(8番人気)、3着ホールキャブチャ(2番人気)をズバリ指名していた久光記者。展開も読み通りで、3連単54万8190円という高額配当を的中させた。

皐月賞、桜花賞の上位組は信頼できるのか?
 変わり身が見込める馬、別路線組で浮上するのは?
 馬券的にも大注目のダービー&オックス。
 実力確かな2人の馬券師が登場していただき、
 大一番の見解を、ズバリ示してもらった。

ダービー ゴールドシップの二冠濃厚 一角崩しはフェノーメノ

皐月賞の前からダービーはゴールドシップとワールドエースの争いになるとみていたが、その皐月賞が両馬のワンツーという結果。三冠のうち他馬が付け入る隙があるなら皐月賞だと思っていただけに、この結果は2頭の實力が抜けていることの証明と捉えたい。

皐月賞での2頭の優劣は「コース取り、というのが大方の見解だろうが、私の見方はちょっと違う。ワールドエースがゴールドシップの様に荒れ馬場のコーナーでグンと加速できたとは思えないからだ。確かにスタート後に前をカットされて置く不利はあったが、それがなくても福永騎手は後方に控えて外を回る競馬をした。それがワールドエースの脚力を生かすベストの選択だからだ。つまりゴールドシップの方が競馬に注文が付き、完成度(総合力)が上だったというのが優劣のついた決め手だと思っている。どこからどのタイミングでも鞍上の意のままに動け、それでいて脚力も一級品。走りに関わらず全弱点がないゴールドシップの二冠が濃厚とみる。

相手筆頭は当然ワールドエース。類い稀な脚力に頼り過ぎた面がゴールドシップとの僅かな差だが、東京なら舞台が申し分ないの確か。逆転の可能性が最もあるのは同馬で間違いない。

他の皐月賞組に距離が伸びてパフォーマンスを上げそうな馬は見当たらず、割って入るなら別路線組になりそう。中でも青葉賞圧勝のフェノーメノは注目。東京3戦3勝のコース適性はもちろん、青葉賞の勝ち時計2分25秒7も優秀。使う毎に調教を強化され、まだ伸び代もありそうな素材だけに、一角崩しならコレか。

NHKマイルCから参戦予定のマウントジャスタは東京2400mという条件が疑問。直行のヒストリカルはワールドエースとの勝負付けが済んでいる印象で、今年は2強+1頭という構図で考えている。

オックス ヴィルシーナが逆転の公算 ミッド、キャトルも注目

まだまだ混戦の牝馬戦線。ジョウドヴィーヴルに代わって王座に就いた桜花賞馬ジェントイルドンナで盤石とは到底思えない。というのも、雨の多い開催だったとはいえ、桜花賞の勝ち時計は過去10年でワースト1位タイの記録。鮮やかな勝ちっぷりほど数字的なインパクトはないのだ。切れ過ぎる面から距離延長も微妙に思えるし、デビューから20キロ近く馬体を減らしているように精神的な弱さも抱える血統背景。全姉ドナウブルーも初の長距離輸送だった中山牝馬Sで大きく馬体を減らして人気を裏切っており、同馬も輸送に不安があるのは否定できないところだろう。

その点、桜花賞2着ヴィルシーナには弱みがほとんどない。クイーンCで既に輸送もコースも経験済み。気性的な遊びや、大跳びで綺麗な走法から、距離が伸びるオックスでは大幅なプラスαも見込める。逆転の公算はかなり高いはずだ。

伏兵にはまず、フローラSで3F36秒7~5F62秒1の遅い流れをビタリと折り合い、直線一気に突き抜けたミッドサマーフェア。レース上がり34秒1と着差のつきにくい流れを思えば2馬身半の着差は相当に強い。君子蘭賞では同日の毎日杯にコマ1秒差という好記録であり、数字の裏付けも十分。クイーンCは位置取りとコース取りの差が出た印象で、大外をブン回して上がり3Fではヴィルシーナを上回ったのだから勝負付けはまだ済んでいないだろう。

忘れな草賞勝ちのキャトルフィーユも面白い。時計こそ地味だったが、最後まで後続を待つ余裕を見せた前走は大楽勝。距離に不安がなく、自在性ある走りは昨年のエリンコートを彷彿とさせる。同じステップで臨んで来る辺りは何とも不気味だ。この他、桜花賞で切れ負けした形のメイショウスザンナが距離延長で変わってきそう。

ダービー 予想される人気と実力が 見合いそうな皐月賞3着馬

稍重、最終週の内が荒れた馬場の割りにペースが速かった皐月賞。先行馬には決して向かない流れで、先団やや離れた3番手に付けて僅差の3着に入ったディープブリランテを評価します。ディープ産駒にしては珍しく逃げ・先行が出来るタイプで、しかも、馬場不問の実績があり、今まで着外なし。ダービーでは、極端な人気にはならないと思われます。先行勢の残り目もあるCコースも良いでしょう。スルスルと内目を突いて、逃げ馬を捉えて後続を封じることが可能だと思います。

皐月賞馬ゴールドシップは皐月賞が2馬身半差の完勝ですから素質は十分認めます。ただ、東京コースで皐月賞のようなショートカット走法がハマるとは考えにくい。2着ワールドエースは、ダービーではこの馬にとって条件は好転すると思われ、世間でも「負けて強し」との評価が高いようです。ただ、毎回大外をぶん回しての競馬で、どうしてもコースロスが発生し、直線で前が詰まったりするなどのリスクも少なくありません。この2頭はダービーでは間違いなく人気になるでしょうから、高配当を狙うためには、どちらも評価はよくても相手までが妥当です。

青葉賞のフェノーメノは優秀でした。本番と同じ条件で、メンバー構成もまずまずの中での完勝は価値があります。左回りの方が合うサウスボータイプで、この競馬が出来れば、本番でも中心視できます。2着エタンドールは勝ち馬に食い下がったものの、最後は力だねじ伏せられてしまいました。それでも10番人気の割にはよくやったと思います。伸び代に期待して相手評価にします。

◎ディープブリランテ、○フェノーメノ、▲ワールドエース、△ゴールドシップ、エタンドール、コスモオゾラ(4月29日時点)

オックス 桜花賞馬は全幅の信頼をおくには強調材料に欠く

距離が1.5倍も延びるので、桜花賞上位馬は過信できません。桜花賞馬ジェントイルドンナは実力は認めますが、一貫してマイルしか使われておらず、遠征も初。全幅の信頼をおいて軸にするには強調材料に欠けます。3着アイムユアーズは距離が伸びて良いタイプではありません。桜花賞組で信頼性が高いとすれば4番人気2着のヴィルシーナです。東京コースのクイーンC勝利及び芝2000mのエリカ賞を勝った経験から本番で好走する可能性はあると思います。フローラSの勝ち馬ミッドサマーフェアは、その前走の君子蘭賞では大外をぶん回す大味な競馬で、最後は抑える余裕の完勝でした。今回は中団前目に付けて、直線鋭く伸びて他馬を突き離す完勝。リスクを抱える後方一気型のイメージが強かったのですが、この競馬が出来れば心配ないと考えます。距離延長も望むところなのではないでしょうか。最低人気で3着に滑り込んだダイワデッセーはちょっと足りない気もしますが、まず人気にはなりませんので可能性に賭けてみる手はあります。

忘れな草賞1番人気1着のキャトルフィーユは本番でも若干穴人気しそうです。しかし、スローペースを上手く先行し、恵まれて勝っただけとの判断をしています。

スイートピースは注目度は低いですが、勝ったダイワズームは3連勝中で、距離は伸びても良いタイプと見ます。軸には若干頼りないのですが、相手には調度よいと思います。また、脚質転換しての先行策が功を奏して2着に粘ったココロチラリは、本番は人気にはまらずならないと思います。無欲の競馬での大穴に期待してみます。

◎ヴィルシーナ、○ミッドサマーフェア、▲ダイワズーム、△ダイワデッセー、ココロチラリ(4月29日時点)